



2015年3月13日

各 位

会社名 マックスバリュ九州株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 佐々木 勉  
 (コード番号: 3171 JASDAQ)  
 問合せ先 経営管理部長 篠崎 岳  
 (電話番号 092-433-1228)

当社の親会社名 イオン株式会社  
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田 元也  
 (コード番号: 8267 東証第1部)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2014年4月8日に公表した2015年2月期(2014年3月1日～2015年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

2015年2月期 業績予想の修正 (2014年3月1日～2015年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円. 銭
前回発表予想 (A)	148,000	2,149	2,146	1,000	132.85
今回修正予想 (B)	146,000	1,300	1,300	150	19.92
増減額 (B-A)	▲2,000	▲849	▲846	▲850	
増減率 (%)	▲1.4%	▲39.5%	▲39.4%	▲85.0%	
(ご参考)前年同期実績	140,833	2,044	2,073	955	126.89

#### 2. 修正の理由

当期における当社を取り巻く環境は、消費税増税による消費者の購買意欲の低下や、円安の進行による原材料価格上昇などの影響等により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは当期連結期間中に新店6店舗の開店と既存店1店舗の業態転換を実行するとともに、既存店15店舗の改装を実施し、お客さまニーズの高い即食型商品群や地域商品を積極的に導入し売上拡大を図りました。

第3四半期、第4四半期におきまして、計画の見直しを行い、第4四半期の売上高既存比は99.3%と改善の兆しは見えたものの、売上高につきましては連結業績予想を下回る見通しです。

利益面におきましては、原材料費の高騰による仕入原価の上昇圧力に対し、商品構成の見直しや高荒利商品の導入等により対応いたしました。商品値下の増加や物流コスト上昇により、売上総利益率は前年差▲0.2ポイントとなりました。

販売費及び一般管理費につきましては、店内オペレーションの効率化による総労働時間の削減に

取り組み、一定の成果は出ておりますが、売上高確保のための販促費の増加や電気代高騰による設備費の増加により、わずかに計画を下回る推移となっております。

特別損失につきましては、本日公表の「減損損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、536百万円の減損損失を計上することいたしました。

このような状況を踏まえ、当期の業績予想につきまして、売上高は 146,000 百万円、営業利益は 1,300 百万円、経常利益は 1,300 百万円、当期純利益は 150 百万円に修正いたします。

※上記の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって連結業績予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上